

門松風船 取扱説明書

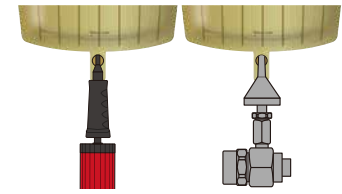


セット内容 門松風船2個

風船サイズ：ふくらまし前 約H110×W77.5cm
 ふくらまし後 約H90×W60cm
 材質：アルミ蒸着ナイロンポリエチレンフィルム
 加工：弁付※リボン、ウェイトは別途お求めください。

ふくらませ方

1. ハンドポンプやガスポンベの先端を風船の注入口に差し込み、ゆっくりふくらませます。
2. 途中で膨らませましたら、気体注入を一度止めて左右の熊笹へも気体が行くように、以下画像のように手で押してください。
3. 熊笹の部分が膨らみましたら、再度気体を注入して完成です。
 ※お花の部分のシワが少し残るように膨らまして下さい。気体を入れ過ぎますと破損の原因となります。



風船の口の部分をしっかりと手で押さえて気体が漏れないようにしてください。



通気口
 押す位置

熊笹の葉の部分に空気が入りづらいので、写真のように通気口の付け根を挟み込むように押して空気を通してください。

悪い例
 ×



良い例
 ○



ふくらます時の注意

- (1) バルーンに異常がないかご使用予定日の3日前にはふくらませて確認してください。
 門松風船は他のバルーンにくらべて複雑な形状をしているため、ふくらまし過ぎによりバルーンが破損しやすくなっております。イベントでご利用の場合は、予備のご購入を強くお勧めさせていただきます。
- (2) バルーンのふくらませ過ぎにご注意ください。
 門松風船は構造上、圧着部分に負荷がかかりやすくなっております。温度や気圧の影響で空気やヘリウムガスは膨張しますので、バルーンのふくらませ過ぎによる破損には十分ご注意ください。バルーンはパンパンになるまでふくらませず、押すと少しへこむ程度に注入量を調整してください。
- (3) 逆止弁の破損にご注意ください。
 バルーンは注入口についている「逆止弁」の作用により空気やヘリウムガスのもれを防いでいます。空気やヘリウムガスを乱暴にバルーンへ注入すると逆止弁が壊れてしまい、もれの原因となります。
- (4) 注入口がくっついてしまっているときは、ゆっくりはがしてお使いください。
 まれに、バルーンの注入口がびったりくっついてしまっている場合がございます。先端の丸い棒や丸いストローなどでゆっくりとはがしてお使いください。無理にポンプやヘリウムガスポンベのインフレーターを差し込むと、逆止弁が破損し、バルーンが使えなくなる恐れがございます。

使用上の注意

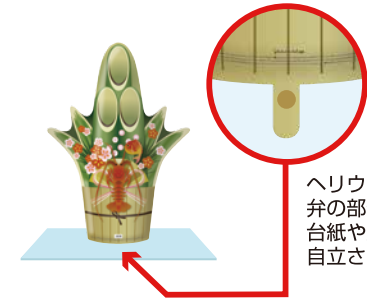
●ヘリウムガスを吸い込まないでください。酸欠になるため大変危険です。●破損の原因となりますので風船に大きな力を加えないで下さい。●風船を濡らさないで下さい。水や汗等が付くとアルミやインクが剥離します。●直射日光や高温多湿を避けてご利用下さい。商品劣化の原因となります。●熱源・火気・鋭利なものに触れると破損します。●電線、線路、道路、空港の近くで使用しないでください。誤って使用すると、感電など事故の原因となります。●この風船は装飾専用です。お子様向けの玩具ではありません。

門松風船の活用方法

ヘリウムガスを入れてお使いの場合



リボンや紐を付けてフワフワ浮かす。



ヘリウムガスを入れて弁の部分テープなどで台紙や床に固定すれば自立させて装飾できます。

別売り付属品 門松風船He用備品 (浮かばせての装飾に!)

セット内容：バルブフックシール、リボン、ウェイト
 発注単位：1セット (各2個入)

空気を入れてお使いの場合



上下左右に紐を結ぶタグがあるので、天井から吊ったり、柱に結びつけたりが可能です



別売りの専用スタンドを使えばヘリウムガスを入れなくても自立して飾る事ができます。
 ※風等で倒れやすい為、風船とスタンド、スタンドと床をそれぞれテープで固定してください。



スタンドに風船をスポッと入れ込むだけで自立させることができます。

別売り付属品 門松風船空気用自立スタンド

素材：PP
 発注単位：1セット (2個入)



横浜風船株式会社 【TEL】045-290-8282 【FAX】045-290-8284
 【mail】yokohama@balloonya.com 【URL】http://www.balloonya.com